ひばりタイムスの

記事ピックアップ

農家のキッチンカー、西東京市でオープン

マスクを着けられない子どもを認めて小平市議会が全会一致で請願を採択

ミニチュアワールドにようこそ!

「ヒマワリ迷路」で思い切り、夏!

掲載企画数 28本

市民ライター募集

ひばりタイムスは創刊以来、報道文の書き方などを学ぶ市民ライター講座をほぼ毎年開いてきました。少数精鋭で腕を磨いた修了生の有志が市民ライターズ倶楽部に参加、活躍しています。自分たちの活動や、関心あるイベントを紹介してみませんか。ひばりタイムスは記事と書き手を求めています。

編集長　北嶋 孝

共同通信社文化部などを経て2004年からフリーに。同年にワンダーランド（小劇場レビューマガジン）創刊。編集長、代表。テレビの情報番組コメンテーター、演劇紹介番組ナビゲーターも。旧保谷市時代から市内在住50年余り。2015年2月に西東京市＋近隣の地域報道サイト「ひばりタイムス」創刊、編集長を務める。

〒202-0002　西東京市ひばりが丘北4-1-9
地域報道サイト「ひばりタイムス」
https://www.skylarktimes.com/
042-449-9434
info@skylarktimes.com

ひばりタイムス

西東京市＋近隣で起きた出来事や住民の活動を伝える
地域報道サイト

数字で見るひばりタイムス（2022年9月現在）　創刊2015年

ひばりタイムスとは

市民とともに、
地域の出来事と暮らしを伝えます

ひばりタイムスは、西東京市や近隣で起きた出来事、住民の活動を伝える地域報道サイトです。

ひばりタイムスは、2015年2月に創刊しました。在京メディアの記者らが集まり、市民と協力しながら市政・議会の動きを伝え、地域ニュースや暮らしの話題をほぼ毎日掲載してきました。

ひばりタイムスは、市民の手による記事や報告を大切にします。そのため講座やセミナーを企画し、市民が書く力を発揮できる機会を設けます。

ひばりタイムスは、有志が集まる「市民ライターズ倶楽部」と協働して編集・運営しています。この両輪が、ひばりタイムスの特徴でもあります。

ひばりタイムスはウェブサイトのほか、メールマガジンやフェイスブック、ツイッターも活用するなど多メディア展開を心掛けます。

近隣の活動を紹介したい、自分たちの活動を広めたい、未知の活動を知りたい、書く力を磨きたい…。そんなみなさんの参加を待っています。

年間アクセス（年平均） 100万pv

市民ライターズ倶楽部の声

団塊世代のわたしは、地域に戻ってきて何をするか迷っていました。でも、ひばりタイムスに関わり、地元のことが分かってきました。記事を書くのは楽ではありませんが、ひとりでないので楽しいことも増えました。（川地素睿・東久留米市）

ひばりタイムスに記事を書くことによって、わかりやすい文章の書き方を学びました。日頃のメールやブログを書く際にも役立っています。地域の出来事にもいっそう興味を持つようになりました。小さなことでも、熱い思いを持って行動している人を知ることもできました。毎日の暮らしが楽しくなったと感じています。（渡邉篤子・東久留米市）

気になる市民活動や、自分が参加しているボランティアチームの記事を書いています。プロの記者であるメンバーも仲間。学ぶことが多く、とても刺激的です。子ども関連の記事などを中心に、これからも執筆していきます。（石田裕子・西東京市）

書くことが初心者だった私も、市民ライター講座を受講し、ライターデビューしました。どうしたら読み手に伝わる文章になるのか、毎回四苦八苦しながらも、書くことと伝えることの楽しさや奥深さを学んでいます。（卯野右子・西東京市）

掲載記事（年間） 約350本

市民ライターは地域との関わりを強めるきっかけになりました。地域の催しに参加する回数が増え、身の回りの環境に意識がむき、自分に何ができるのか考えるようになりました。（道下良司・西東京市）

街の話題を記事にするうちに自分の街が少しずつ見えてきました。どこでどんな行事があり、どういう人たちが活動しているか。地元を知ることが日々の生活を彩ります。（片岡義博・小平市）

何年やっても文章を書くのは正直難しいです。ただ「取材」を通じて地域の皆さんとやりとりし、ひばりタイムスで情報をお伝えできる喜びは格別です。（倉野武・西東京市）

何もなさそうな住宅地にも、意外な歴史がうずもれていることがあります。本の力を借りながらそうしたお宝を掘り出す「書物でめぐる武蔵野」を連載しています。（杉山尚次・東久留米市）

市民ライター 計101人